



市保連 だより

2009
(7月)

[第386号]

平成21年7月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 重岡 啓一
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 鬼塚 静波
委員 建川 美逸
委員 村川 上川 裕季子
委員 平川 裕子
委員 伊形 けい子
委員 石井 福栄
委員 石角 奈二郎



理事会

適切な対応

熊本市保育園連盟 予算対策委員長 上野 誠之

メキシコにて発生した「新型インフルエンザ」が日本国内でも確認され、渡航歴のない関西の中高校生を中心に拡がり、大阪府や兵庫県においては、潜伏期間が一週間ほどであることを背景に一斉休校の措置が取られました。そして関東圏でもこの新型インフルエンザが確認され、全国への拡大が心配されるどころです。夏に向けて収束するとも言われていますが、現在はどうなっているのでしょうか。元々「新型インフルエンザ」に対する行政の行動計画は、強毒性の『鳥インフルエンザ』を想定したものであり、各自治体が設定した行動計画が、日々正体の判ってきた「豚インフルエンザ」に対して柔軟で臨機応変な対応が望まれるところです。確かな情報に沿って、適切な判断とともに子ども達の安全を守りたいものです。

さて、改めて保育所保育指針が法制化されたことについて、制度問題を含め触れさせて頂きたいと思います。『なぜ保育指針が改定され、法制化されたのか?』。改定された学習指導要領に整合性を持たせるため? 国が将来的に社会保障にかかる費用が捻出できなくなるから? 介護保険制度と同じにしたほうが国の財政削減となる? 様々な見解があるかと思いますが、『急速な少子化となり、子ども達の姿や環境が変わってきたから』と受け止めたいものです。兄弟姉妹、友達、地域との「関わり」で社会性を身につけたり、様々な人間関係を学んだり、人との関係性で成り立っていた時代から、少しずつ社会の構図が変わってきたことに要因を感じます。新保育所保育指針は随所に子ども達の「自発的」

「主体性」「関係性」「関わり」といった言葉が出てきます。また、「子どもは、様々な環境との相互作用により発達していく」という言葉から、これからの保育は『関係性の発達』を意識すべきなのでしょう。保育所においては保育士との関係だけでなく、信頼関係を基盤に、同年齢の子どもの関わり合いだけから、同じ発達や異なった発達での関わり合い。様々な場面でこれまで行ってきた保育の方法とは違った見方、捉え方が今の保育者に必要だとも言われているようでもあり、子ども達の個人差に応じた適切な環境を設定する力が求められています。2歳だから、3歳だからではなく、子ども達の姿をしっかりと捉え、次にどのような環境を整えて援助を行うことが適切なのかを考え保育にあたりたいものです。発達の多様な子ども達に保育者主導の年齢区分だけの画一的な保育、経験と勘に頼った保育には疑問を感じます。さらに、保育の現場においては、個々に援助が必要な子どもがたくさんいます。国の保育士配置基準では困難な事かもしれません。時代や子どもの姿が変わっても保育の方法は昭和の時代から変わらない、変えないではなく、思い切った保育の展開が必要なかもしれません。時代に沿った保育が実現できるような制度改革や施策に期待し、声を上げていかなければならないと思います。子ども達の健やかな成長のために。





保育士会

笑顔がいちばん!!

畠口みのり保育園 保育士 田尻和子

小さい頃から、「笑顔が一番よ！笑っていると幸せが入ってくるよ…」と母から教えられてきました。

保育士という職業について間もない頃、まだ新人だった私は、失敗の連続で反省の毎日でした。

自分の中から、笑顔が消えていた頃、保育室で暗い顔をしていた私に、ある男の子が近寄り、心配そうに私の顔をのぞき込んで頭をなでてくれました。

その瞬間思わず涙が出てきました。

それから、壁にぶつかるたびにその子や「笑顔が一番よ！」という母の言葉が浮かんできます。

初めは失敗の連続だった私も、保育士としての経験を積み重ねながら、後輩を指導する立場となり、後輩保育士にも「笑顔が一番！」と声

をかけています。

これまで保育士として頑張ってきたのも、子どもたちの笑顔に癒され、職場の中でもたくさんの笑顔に囲まれてきたからです。

これからも私の大切な言葉「笑顔が一番！」で頑張っていきたいと思います。



調理師会

栄養士になって

やまばと保育園 栄養士 吉川明日香

保育園の給食に携わる事になって3年目を迎えました。栄養士の仕事は、中学からの夢でした。昔から料理やお菓子作りが大好きだったので、栄養士として給食を作る事ができて、毎日とても充実しています。

2年前の春、栄養士として働く事が初めてだった私は、全く余裕がなく、毎日仕事を一生懸命していました。その中で“離乳食”を必死に作っていた事を、今では懐かしく思います。最初はやはり離乳食に戸惑っていたのですが、その時期にちょうど離乳完了期を迎えていた我が子への離乳食作りの経験を生かし、色々な食材を使い、おいしい離乳食を心がけていました。そのおいしそうに離乳食を食べていた子ども達も今年で3才になり、今ではも



うずいぶん大きくなって“好き嫌い”で、先生方を困らせています。それだけ、味覚なども成長したんだなあ実感しています。

やまばと保育園の園児は、“おじいちゃん、おばあちゃん”と同居の世帯が多い為、最近取り上げられている“朝ごはん”に関しては、ほとんどの園児が家族揃って食べて来ます。その為、午前中元気いっぱい遊んだ子ども達は必ず給食室に来て、「今日の給食何ですか？」と、尋ねてくれます。そして残さずに何でも食べてくれて、「先生の御飯おいしい！」と言ってくれた時が一番やりがいを感じます。

これからも大好きな子ども達の為に、おいしい給食を作り、共に成長していきたいです。



園長会

保育の仕事に就いて

やまばと保育園 園長 吉本博光

今年度から保育園長に復帰して、2ヶ月を経過しました。以前園長をしていた頃には考えてもいなかったのですが、子ども達と一緒に遊び過ごせる楽しさと喜びをしみじみと感じているところです。ただ保育園の立地条件等から数年前までは考えもしていなかった（本来ならば長期的見通しを立てていなければならないとは思いますが…）少子社会の影響をまともに受け、極端な園児数の減少で保育園運営に支障をきたし頭の痛い状況にあるのも事実です。保育園に通園している子ども達が安心して楽しく一日を過ごし、その子ども達を見守り保育する職員も安心して働くことのできる保育園であるためには、経営基盤がしっかりしていることの重要性を痛切に感じております。子ども達が元気で園庭を走り回っている姿に日々接していると、ついそんなことも忘れてしまい、又新たな元気を

もらいます。子どもは『社会の宝』とよく言われますが、その子ども達と一緒に過ごしながら仕事ができるという立場に感謝し、大いにはしゃいでいきたいと思っております。ただ今年も還暦、子ども達と野山を駆け回る体力があるのか心もとない気がします。



二年間保育の現場を離れ、当初はほっとした面が多かったのですが、数ヶ月もすると一抹の寂しさとはっきりした目的も見出せず何となく時間だけが経過していくようでした。ただその間に、心身ともにリフレッシュしました(?)ので、初心に帰り楽しく職務に励もうと思っております。

7月の予定

会合	ブロック	日	時間	会場	研修内容
実技研修会		22(水)	14:00 ~17:00	青年会館	「身近な素材を使った表現あそび」 講師；劇団道化 西村 健治氏、西 雅子氏
保育士役員会		21(火)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 5F 中会議室	
調理士会 ブロック研修会	東 部	9(木)	14:00 ~17:00	東部市民センター	「調理実習・食の安全性について」 講師：産直クラブ 伊東 弘氏
	西 部	9(木)	14:00 ~17:00	西部市民センター	「各園持ち寄り調理実習」 (こずえ保育園・熊本藤富保育園・かおる保育園)
	南 部	9(木)	14:00 ~17:00	南部市民センター	「講話・調理実習」 講師：後藤 千カコ氏
	北 部	9(木)	14:00 ~17:00	中央公民館	「各園持ち寄り調理実習」 (たつだ保育園・寺原保育園・供合保育園)
	中 央	9(木)	14:00 ~17:00	幌馬車	「食育 畑の管理から実際まで」 講師：幌馬車 大村 千代美氏
理 事 会		14(火)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室	
園 長 会		23(木)	14:00 ~17:00	熊本市現代美術館 アートロフト	

ご結婚おめでとうございます

- 天使の園保育園 7月19日 保育士 太田黒 真理子 (旧姓 黒川)
- こずえ保育園 7月11日 保育士 柘永 いづみ (旧姓 牛島)

平成21年度 保育研究大会

平成21年 5月16日(土) 於 熊本テルサ



重岡理事長挨拶



表彰を受けられた先生方、ご苦労様でした。益々のご活躍を!



光を浴びて♪ 大合唱!!



熱心にメモを取る会員



講演会

演題 「保育所における保健衛生」
～子どもの健康と安全を見つめなおそう～

講師 小児科医 巷野 悟郎 氏
(日本保育園保健協議会 顧問)